

2005年5月9日

報道各位

プラネットニュース No. 57

東京都港区海岸3-26-1
株式会社プラネット
代表取締役社長 玉生 弘昌
(JASDAQ コード番号: 2391)

プラネット、パルタックとマスターデータの同期化に着手

～ マスタメンテナンスコストを削減し流通の全体最適を目指す～

株式会社プラネット(本社:東京都港区、代表取締役社長:玉生弘昌、JASDAQ2391)と株式会社パルタック(本社:大阪市中央区、代表取締役社長:三木田國夫 JASDAQ8283)は、商品マスタのメンテナンスコスト削減と迅速化を目的に、双方の商品マスタデータのシンクロナイゼーション(同期化)を行うことで合意、双方のデータ仕様の確認作業を開始した。

日用品雑貨化粧品業界EDIネットワーク運営会社のプラネットはライオン、ユニ・チャーム、エフティ資生堂、エステー化学、P&G、花王、日本リーバなどメーカー353社の商品カタログ情報約4万4千アイテムを商品データベースに登録し、プラネットが開発した流通業界向けビジネス支援サイト「バイヤーズネット」を介して卸売業および小売業約600社に提供している。この商品データベースは、棚割システムの画像マスタとして利用することが主で、EDIを初めとする取引業務および物流などの基幹系システムの商品マスタ登録には活用されていなかった。そのため、商品マスタの登録業務は、従来通りの人手を介したままであり、メーカーセールスによってマスタ登録用紙に記入あるいは専用の画面からデータの手入力をおこなっていた。

今回のプラネットとパルタックの商品DBのシンクロナイゼーション(同期化)によって、メーカーセールスの手間を大幅に減らす効果がある。また、パルタックもマスタ登録のスピードアップが図れ、登録ミスによる品切れや欠品も防止できる。プラネットはこのサービスを主要な卸売業、小売業に拡大していく予定。

マスターデータのシンクロナイゼーション(同期化)とは、多数の商品データベース間の仕様を合わせ共有化するもので、欧米では国際標準化推進団体GS1によって小売連合のマーケットプレイスなどの商品DB相互を結ぶGDSが進められている。

国際標準化推進団体GS1:国際EAN協会が2005年1月“GS1”に改称、それに応じて米国では流通コード機関UCCが“GS1 US”を開設、日本では(財団法人)流通システム開発センター内に“GS1 Japan”が設置された。

小売連合のマーケットプレイス:メトロ、カルフル、シアーズなどによるGNX、ベストバイ、JCペニー、セーフウェー、イオンなどによるWWREなどがある。

GDS:Global Data Synchronization

《ホームページ / お問い合わせ先》

株式会社プラネット <http://www.planet-van.co.jp>

担当者:経営企画室 滝山重治 Tel.03-5444-0811